



【推薦の言葉】

長瀬慶來（山梨大学名誉教授、関西国際大学大学院、同教育学部教授）

最近では、文科省の指針で、「英語の授業は英語で」が標準となっている。授業活動をすべて英語で進めていくことは、そんなに容易いことではない。しかしながら、本書では、アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び）を先取りしたGDMの基本的な理論の概要と具体的な指導プランが豊富に導入されている。本書で紹介されている様々な教授手法や中学校高等学校での実践例は、現場の先生方にとって極めて有用であろう。

※表紙の最終案です。出版されるものは配色など変更される可能性があります。

大阪教育図書 B5版 328ページ 2800円+税 書店、Amazonなどで販売

GDMを知った、分かった、使えた！ 11/12 発行

English Through Pictures Book1 「絵で見る英語」の使い方

◆◆◆ 英語脳を作る | 3の動詞と | 8の前置詞 ◆◆◆

< be動詞の世界・・・EP Book1 pp.1-13 >

< 一般動詞の世界・・・EP Book1 pp.14-121 >

- ・ 英語脳に必要な不可欠な「未来・進行形・過去形」の使い分け
- ・ 現在形は see, have で教えよう



==== 実践編 =====

GDMを使って英語脳を作る学校の授業

- 学校で活用する必要性
- 教科書との融合カリキュラム
- 英語脳を作る中学校の授業実践

豊富な Lesson Plans



- ・ We are here. は絆 ・ 見える was と見えない was
- ・ イスの脚で冠詞を教えよう！
- ・ for < cup から教えて丸暗記からの脱却 >
- ・ 仮定法 < 困ったらコントラストにもどる >
- ・ 受け身 < 書き換えではなくストーリーが必要 >
- ・ 疑問詞 + 不定詞 < ドリル練習 10回より1回のリアリティ >
- ・ 現在完了 < We are here. の気持ちを大切に >
- ・ 関係代名詞 < 箱を使えば簡単に言える > ・ 動名詞 < イメージで英語脳を作る >
- ・ 間接疑問文 < 『必要な情報を追加』はいつも効果的 >
- ・ 時制 < 現在形スタートでは英語脳にならない > ・ 不定詞

授業ですぐ使える / ウハウ満載 !!

『EP1』はこうやって教える (目次より抜粋 ※太字の項目は授業案形式)

be 動詞の世界 I, You, He, She, It, They が英語脳の第一歩 / is, am, are の使い分けから英語の世界観が分かる /

This is, That is に続く my, your, his, her の文を教える / in, on で前置詞の基本を教えよう

一般動詞の世界 : 英語脳に必要不可欠な「未来・進行形・過去形」の使い分け

take ~ off ... で日常の基本動作を教えよう / put は take と対比して教えよう / 動作をすれば見える was / a man's hat と the man's hat の使い分け / give "thing" to "person" の語順の定着を / 日本語訳の「その」と「~の」では理解できない its と of /

現在形は see, have で教えよう 時計を使えば will be が一目瞭然 / 世界を thing・person で分ける /

現在形のルールは see・sees がわかりやすい / 英語脳に欠かせない動詞 have, say と前置詞 between, under, over / which 疑問詞から関係詞へ

動作や行動が広がる come, get, do 疑問詞 who と give a turn, push / come+into, out

of, through は実際に動いて体感 / when を接続詞に、what を関係詞に広げる /

make, keep で S+V+O から S+V+O+C の文へ

make 「物の形や状態を変化させる」を体験する / 英語脳に欠かせない動詞 keep と前置詞 for / different, the same が分かると世界の見方が変わる



アクティブ・ラーニング
英語で授業を

◆◆ 中学校での活用例 ◆◆

- ① 代名詞の一覧表より手で持って "its" ② will+動詞の原形 be では英語脳は作れない ③ 日本語を使わずに language を教えるには
- ④ 70年も前からアクティブ・ラーニング
- ⑤ 3単現より see / sees を合い言葉に
- ⑥ on foot や逆立ちを丸暗記より早く覚える方法

◆◇ GDM's View ◇◆ 視点を変わるとこんな世界が

- ① After the Lesson of "We are here." ② was の可視化は英語脳への近道
- ③ a や the に困ったらイスの脚にもどる ④ for で関係代名詞の準備をしよう
- ⑤ 英語脳を使って考える力をつける for ⑥ コントラストを活用して教える動名詞
- ⑦ 形容詞用法から教えて英語脳をステップアップ ⑧ 自分の経験の情報交換は記憶に残る
- ⑨ 能動態の書き換えとして教えてはいけない ⑩ 間違っただけの受け身の日本語訳はやめよう
- ⑪ 『必要な情報を追加』が英語の文構造の大原則 ⑫ 後ろから先行詞にひく『←』を使った説明はやめよう ⑬ 英語脳に近づくカルチャーショック ⑭ 過去進行形も He is here / there. から



【推薦の言葉】金森 強 (文教大学教育学部教授)

Graded Direct Method は「英語で授業を」に有効な教授法の一つである。日本語訳や文法用語を用いた説明は行われず、学習者が、目的、場面、状況に応じて思考・判断をし、表現することで、対話的な活動を通して、語彙や文構造の機能や意味、使用法を自ら習得する主体的な学びとなるからである。本書は、言語学習の本質をふまえた GDM 理論に基づく実践から得られた多くの知見に加え、中学校での活用例が豊富に紹介された英語教師必携の一冊である。